



広報あくね

第365号

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和52年6月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行 1部10円

世帯数と人口	
(5月1日現在)	
世帯数	9,244 (+21)
人口	30,315 (+13)
男	14,107 (-10)
女	16,208 (+23)
()内は前月比	



6月号

「忘れもしない昭和5年8月23日、私が小学校5年生の夏休みのときでした。スポーツなら何でも一通りこなしていた私は、友達と棒高跳びをしていたところ、突然棒が折れて左の大腿骨をけが。元氣坊主の私は、薬もつけずに遊び回っていたところ化膿し骨髄炎を併発、身障者への道を歩むことになりました」と語る小原豊光さん(満一58歳、西目馬見塚出身)。学校卒業後、満洲に渡り石油会

将来は自分の家を

社に勤務。満洲で終戦を迎えた小原さんは、3年近い捕虜生活のあと昭和23年3月7日帰郷。

終戦直後の当時は職もなく、失対などで働いたのち昭和28年1月からヤクルト販売の仕事に着手。「どうも、どうもー」と口癖のように語る小原さんは「ヤクルトのおじさん」と親しまれています。

「現在は市営住宅での生活。将来は小さな家でも自分の家を持ちたい」と夢を語る小原さんです。

主な内容

国立療養所の整備状況	2・3
地方税法改正される	4
飯島と経済交流懇談会	5
農・漁業を観光資源に	6
環境づくりを考えよう	6・7
副知事らが防災点検	8
5か所にえんてい完成	8
一筒橋ようやく完成	9
ひろば	10・11
婦人会飲酒運転を追放	12

国立阿久
根療養所

順調に整備がすすむ

将来 一科制から増科へ

現在サービス棟を新築中

総合病院のない本市では、市街地に眼科病院がないことと小児科病院などが少ないことから、国立阿久根療養所の整備拡充を望む声が高まっています。

このため同療養所では、現在の内科と外科の診療科から、小児科、眼科、整形外科などの診療科を有する医療施設として、徐々に整備していく構想を立て、地域の医療需要にこたえるよう努力しています。そこで、同療養所の整備状況と将来への展望など、本市における医療施設の実態について特集してみました。



病院は患者でいっぱい

結核患者を収容する療養所として、地域住民の健康保持に貢献してきた国立阿久根療養所は、医学の進歩につれて結核患者が減少したことから、地域住民の要望にこたえて、昭和四十六年から一般患者も収容してきました。

しかし本市には、病院数や専門医院などが少ないことから、一部では水俣市や出水市、川内市などの病院に通院したり入院している人も多く、国立療養所の診療科増設に対する市民の期待は年々ともな大きくなっています。

このため同療養所では、市民の医療需要にこたえるよう施設の充実を注ぎ、市も側面的な協力を続けてきました。

この結果、昭和五十年度は鉄筋コンクリート造二階建て病棟百床が完成、昭和五十一年度も、将来二階建て病棟とする計画で、鉄筋

コンクリート造の平家建て病棟五十五床が完成するなど、着々と整備が進められています。

本年度は、調理室や食堂などを収容するサービス棟を建設する計画で、来年一月末の完成を目標に現在、新築工事が順調に進められています。

昭和五十年八月には、厚生省も結核病棟百七十五床のうち五十五床を一般病棟への転用を許可し、北薩・川薩地域の広域医療センターとしての機能を充実させつつあります。

結核療養所から脱皮
年々増える一般患者

一般病棟の完成によって、従来の結核療養所というイメージは除き、ひそめ、外来患者も一日六十人から八十人を数え、年々増加の傾向にあります。

病床定数は百七十五床で、内訳は結核百二十床、一般五十五床となっていますが、入院患者の年齢別構成をみると、全体の六四割が六十歳以上のお年寄りとなっており、高血圧症などの老人病が増えていることを示しています。

このため同療養所では、リハビリ訓練棟を設置し、脳いっ血などの後遺症患者の機能回復訓練を行っているほか、慢性成人病や小児ぜんそくなど、小児難病疾患を治療する医療機関としての整備も進めていくことにしています。

献血にご協力を

県赤十字血液センターでは六月二十九日（水）市内三箇所献血を行いました。万に備えて健康な方は献血にご協力ください。

午前九時三〇分から十二時まで市病舎で、午後一時から二時まで細井製作所で、午後二時三〇分から三時半まで全国産産で。

保険証異動は届出を

国民健康保険証の被保険者・住所・世帯・転出・転入などのほか社会保険などの資格を取得したり喪失したときは、十四日以内に市保険衛生課に届出てください。

また、治療中のかたは、治療を受けている病院にも届出ることになっています。

祭壇は市社協へ
使用料は八千円に

市社会福祉協議会では、葬祭用の祭壇を貸し付けています。貸し付けを希望されたかたには、祭壇の運搬から後片付け、取りはずしなど、すべて民間業者に委託されています。

あなたのご家族や親類などに、万一、不幸があった場合は、速速なく同協議会の祭壇をご利用ください。

手続きは次のとおりです。
申込み方法
市社会福祉協議会（市役所・福

療養所に眼科を

浜町 演崎 雅さん



大塚眼科
がなくなっ
てから市民
は市外に通
院している

実情。仕事への支障だけでなく、病気になるても治療は遅く、結局、健康を損なうという結果になり、療養所の診療科に眼科の増設をというのが私たちの願いです。

市民の声

欲しい小児科病院

高松 大曲由美子さん



子供の具
合が悪いと
すぐ川内行
き。治療費
のほかにバス

代、所用時間とムダを強いられ、地元小児科病院の必要を痛感します。その点、若い母親たちは国立療養所の施設拡充に大きな期待を寄せ、一日も早い実現を願っています。

市も早期実現に本腰

広域医療
センター
市民の健康を増進

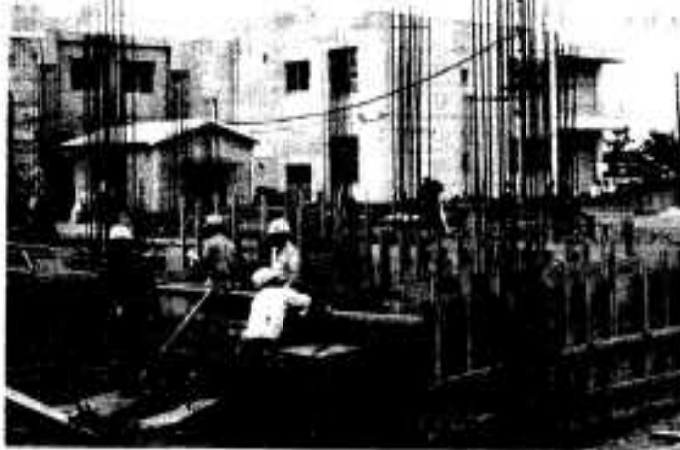
国立阿久根療養所がまとめた医師一人当りの県平均人口は八百五十人となっていますが、阿久根市、長島町、東町は千八百二人となっており同地区の医師数は極めて少ないことを明らかにしています。

このため同療養所は数年前の展望として、現在の内科と外科の診療科に、小児科、眼科、整形外科などの診療科も増設する構想を立てています。

また、出水保健所管内の病床必要数は五百六十八床と推定。これに対し同管内の病床数は四百七十七床となっており九十四床が不足していることから、同療養所の現在の病床定数百七十五床を、増床は二百五十床に増床し、地域の広域医療センターとする計画を進めています。

現在までに二病棟が完成 将来は外来診療棟なども

それには、まず医療施設の整備充実が必要であるため、昭和五十



2段建て病棟と並んでサービス棟を新築中

の整備促進は重要な課題です。今後とも積極的に厚生省への陳情を続け、一日も早く療養所を地域の広域医療センターにしたい」と、積極的な姿勢をみせています。

また、市議会も本市の医療施設の整備を訴え、国立療養所の整備促進について要請するなど、同療養所に対する市民の期待が大きいことを示しています。

構想実現まで段階的に整備 こんごの陳情が力ギを握る

これらの構想をすべて具体化するまでには、相当な予算を必要とする。ことから、同療養所では段階的な整備を進めたいと語っています。具体的には実施年度については明確にされておらず、今後の厚生省への働き掛けによって左右されるというのが実情です。

しかし、結核患者が減少していく傾向にある反面、地域住民の同療養所における期待も大きいことなどあって、今後の方向としてこれらの医療に対応する国立医療機関として、徐々に整備拡充されつつあります。

同療養所が構想どおり整備拡充され、近隣の公立病院に優るとも劣らない立派な医療機関に生まれ変わることに、一般の人々ももちろんのこと、お年寄りや身障者など体の不自由な人たちの病気の治療が更に充実することになり、構想の実現が期待されています。

延事務所内)で手続きをし、祭壇利用依頼書を持って、小園公善社(本町)に提出するだけです。手続きには印鑑はいりません。

ただし、日曜日・祭日の場合は市役所の日直職員に申し出て、祭壇利用依頼書を持って、小園公善社に提出してください。

祭壇貸与期間 三日間

祭壇の使用料 八千円。ただし祭壇だけの使用料となっていますので、棺、葬儀用供花、霊きょう車などの使用料は含まれていません。使用料の納入は、申し込むのときでも、葬式後でも結構です。

アンブ取替えに補助 申請は一か月前まで

市では各区長さん方や小組合長さん方などに設置されている有線放送施設に対して、設置工事費の二五割を補助してきましたが、各地区の放送施設が老朽化したことなどによって、昨年度からはアンブ取替工事費にも二五割の補助をすることにしています。

これらの補助申請は、すべて工事施行前(一か月前まで)に行ってください。

工事施行後の補助申請は補助できないことになっていますので、事前に申請してください。

なお、有線放送施設のことについては総務課書広報係にご相談ください。

市 県 民 税

地方税法改正される

十四市では一番少ない課税額

地方税法の一部が改正され、個人の住民税の各種控除額と法人市民税の均等割の税率が引上げとなりました。今回の改正は物価調整税として改正されたものです。しかし、実質的には所得の伸びなどの関係もあって、前年度に比べ若干の増税となっていますが、本市の前年度一人当たりの市民税は県下十四市で一番低い課税額となっています。税金は行政を行うための重要な財源です。納税者の納入にご協力ください。

地方税法の改正によって、個人の住民税が改正されました。改正の主な内容は、別表一のように前年の所得額から差し引かれる各種控除額と、障害者や寡婦などの非課税限度額が、それぞれ引上げとなったことなどです。

しかし、今回の改正は各種控除

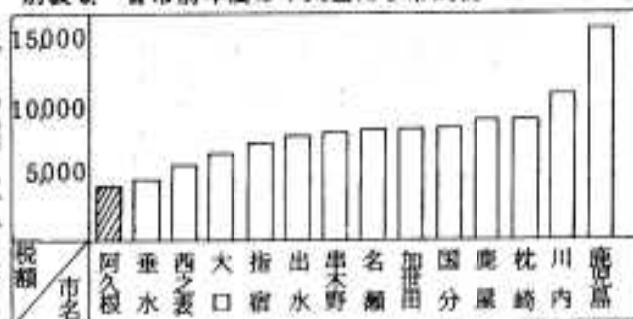
区 分	改正前	改正後
基礎控除	19万	20万
配偶者控除	19	20
扶養控除	17	19
障害者控除、老年者控除、寡婦控除、勤労学生控除	16	18
老人扶養控除、配偶者のいない第1子扶養控除、特別障害者控除	19	20
障害者、寡婦等の非課税限度額	70	80

別表1. 個人住民税の主な改正点

所得額	51年度 150万円	52年度 170万円
家族構成	夫婦と子2人	夫婦と子2人
控除額	円	円
社会保険料	120,000	140,000
生命保険料	35,000	35,000
配偶者控除	190,000	200,000
扶養控除	340,000	380,000
基礎控除	190,000	200,000
控除合計額	875,000	955,000
課税標準額	625,000	745,000
税率	100分の4	100分の4
累進控除額	8,000	8,000
市民税所得割額	$625,000 \times 0.04 - 8,000 = 17,000$	$745,000 \times 0.04 - 8,000 = 21,800$
県民税所得割額	$625,000 \times 0.02 - 12,900$	$745,000 \times 0.02 - 14,900$
均等割	市 700 県 300	市 700 県 300
市県民税合計	30,900	37,700
伸び率	100%	122%

別表2. 市県民税の計算例

別表3. 各市前年度の1人当たり市民税



また、この表でも分かるように三万七千七百円のうち、県民税所得割額一万四千九百円と均等割の県民税三百円の合計額一万五千二百円は県民税として県の収入になり、残りの二万二千五百円が市民税として市の収入になります。ちなみに前年度の県下各市の一人当たりの市民税をグラフで表わすと、別表三のようになります。一人当たり四千八百円の本市の市民税が一番低い税額となっています。このほか、法人市民税の均等割の標準税率も改正されました。改正の主なものは、資本金または出資金が一千万円以下の法人等の均等割標準税率が七千二百円から八千円に引上げとなったことなどです。今月は市民税一期分の納期です。納税に納入ください。

所得税を払い戻します
申告納税者は請求手続を

今回昭和五十一年分所得税の特
別減税が行われ、次の金額が還付
されることになりました。

還付される金額は、本人は六千
円、控除対象配偶者や扶養親族は
一人につき三千円として計算した
金額です。ただし、納めた昭和五
十一年分の所得税額の方が少ない
ときは、その税額までとなります
還付方法とその手続は次のとお
りです。

【サラリーマンの場合】
本年六月一日現在において昨年
と同じ会社に勤務しているサラリ
ーマンは、およそ、六月と七月ご
ろ、賞与や給与を受取るときに、
勤務先から還付されます。

【事業所得者などの場合】
事業所得者など確定申告をして
納税した人は、六月下旬ごろに税
務署から還付を受けられる金額を
お知らせします。その際、同封さ
れた還付請求書に、所要の事項を
記入して、税務署に返送してくだ
さい。そうすると、税務署から還
付金の支払通知書が送られてきま
すから、この支払通知書によって
郵便局で還付金を受取ることにな
ります。

【その他】
給与の税金を源泉徴収で納め、
年末調整を受けているが、今年に

航路強化で意見が一致

航路強化で意見が一致
交流会 当面「光共丸」を育成

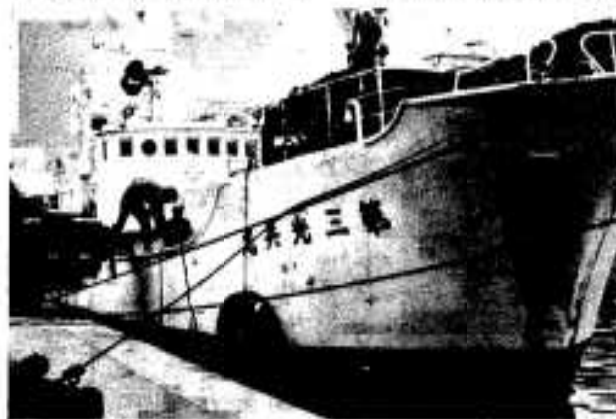
九州商船の飯島航路廃止後、交流の減少しつつある本市と飯島四村は、五月十六日国民宿舎「あくね」で経済交流懇談会を開き、当面の課題などについて意見交換しました。

懇談会には飯元善文阿久根市長や日笠山重里村町をはじめ、本市と飯島四村の議会や農漁協、商工会議所などの関係者約五十人が出席。本年四月から就航している民間航路「光共丸」(四七)の航路強化などを中心に、今後の方向について論議しました。

大口市と観光交流会

海水浴シーズンを控えた五月七日、市観光協会は大口市を訪問し、海と山の観光交流を深めることにしています。

同交流会には、本市側から小野義成助役、谷口友三郎観光協会長など十人が出席。大口市からは今



飯島・阿久根間を結ぶ唯一の航路として光共丸にける期待は大きい

牛深市に送っている。阿久根に水揚げしたいと思っているが、活魚の取扱いや仲買人などの問題で値段が安い。改善してほしいなどと訴えました。

これに対し阿久根商協は「活魚の件については、仲買人の問題もあり困難」だとしながらも、前向きに検討したいと答えました。また飯島側は「阿久根と飯島は

きつてもきれいな開柄にあった。定期航路がないのは残念。今後は飯島の商工会と、阿久根の商工会議所で話し合うべきだ」と提唱、本市側も了承しました。

結局、双方の経済交流には航路の存続が重要な課題であることに意見が一致。今後は積み荷などの点で、民間航路・光共丸の育成を図ることを申し合わせました。

ボントン園を解放

農漁業を観光資源に

海水浴客を主体にした夏場だけの観光地から、周年観光地への脱皮を目指した観光農・漁業推進協議会は、五月十一日三葉旅館で開かれ、今後の観光客誘致について話し合いました。

会には飯元市長、谷口市観光協会会長をはじめ農・漁協などの代表者約四十人が出席。特産のボントン狩りや漁協の入札風景、水産加

潮干狩り作戦を展開 海水浴場に稚貝放流

市と観光協会は潮干狩り作戦を展開、五月十三日夜、大川島海岸にハマグリとアサリの稚貝二百を放流しました。海水浴シーズンとなる七月初めに解禁し、訪れた観光客に潮干狩りを楽しんでもらうことにしています。

工場の観光化などを検討しました。このなかでボントン狩りについては、年内で青果用の収穫が終わるものの、果樹園には加工用のボントンが残っていることに着目、ボントン狩りとして観光客に開放する具体策を練ることにしています。

このほか市内の伝説地や史跡などを再発掘し、観光ルートを開発することに意見が一致しました。

大きくという趣向で、昨年から稚貝を放流しています。

また同日は、黒之浜漁協も二百時時代に処して鮎本浜と下村海岸にアサリとハマグリを放流。同海岸での潮干狩りは九月上旬まで禁漁とし、その後は年間千円の入漁料を納めた人たちに与えらることにしています。

県民吹奏楽巡回公演

とき 6月18日午後6時30分
ところ 市民会館
入場料 無料
曲目 軽騎兵序曲・カントリーロード
アクエリアスなど数10曲

なつて五月末までに退職した人や昨年中途で退職したなどのため、給与税金を源泉徴収されたままで年末調整を受けていない人などは税務署へ還付請求をしてください。この場合、昭和五十一年分の確定申告書を提出していない人は、期限後の確定申告をして、特別減税を受けることになっています。くわしいことは、税務署(所得税担当)へおたずねください。

納付書の名前の読み違いは市税務課まで

課税事務の電算化により、市県民税一期分の納付書から、納税義務者の名前がカタカナ書きとなっています。このためコンピュータの読み違いもあると思いますので、もし間違っていましたら、市税務課までお知らせください。

環境づくりを 考えよう

市では道路の改良舗装、産業基盤の整備、社会福祉の充実など、明るく豊かな郷土づくりに努めています。また地域では「町づくりの主役は私たち」と、奉仕作業で住みよい環境づくりを進めているところも多いようです。行政が

豊かな住みよい環境づくりを進めることは当然のことですが、よりよい環境づくりのためには、私たち市民の協力が必要です。そこで、地域の奉仕作業の実態から、こんどの環境づくりのあり方について考えてみたいと思います。

大丸町 市民がみぞさらえ

市役所課長会も応援

「清潔で明るい環境をつくるには、行政まかせではいけない。自分たちでできることは、みんなの奉仕作業で町づくりに努めよう」と、五月二十五日大丸町は、町内の排水路清掃を行いました。

作業には、同町内の有志や消防団などをはじめ、市役所の課長会のほか、仕事の合間をみて小野義成市助役など約七十人が参加。慣れないスコップを片手に、汗だくでみぞさらえをしていました。

市街地の中心部に当たる大丸町には、北側と南側に二本の大きな排水路があり、木ぎれやゴミなどのほか、地区民の生活汚水が流れ込み排水を悪くしていました。



スコップで排水路の泥を取り除く大丸町の人たち

そこで同町では、みぞさらえを検討。自分たちでできるところは奉仕作業で行うことにし、北側の排水路清掃は市に依頼。市と協力して清潔な町づくりを進めること

市道の清掃に報償金

昨年度 35地区が奉仕作業

ところで昨年度は、山下馬場など三十五地区で奉仕作業による市道の清掃が行われていました。

このため市では、市道やその周辺の草木の伐採、側溝の土石さらえ、路面整備などの作業をした地

にしたものです。同町では、現在の汚れた排水路をきれいに清掃し、高松川の浜田橋いせきから水を引き、市民の生命財産を守る防火用水路として活用する計画を立てています。こうしたことから市も同町の北側排水路の清掃事業費を予算に計上、環境づくりに意欲的な大丸地区の要望にこたえることにしています。

区や団体に対し、報償金を支払い市民との協力による市道の維持管理に努めることにしています。もちろん市道の維持管理は、市の責任です。しかし市道は私たち市民ひとりひとりの財産でもあります。従って、本来は私たちが市道の維持管理に当たるべきですが現実には不可能なことです。

そこで私たちは、その代償の一部として税金を納め、市が維持管理を行っています。しかし、現実には市民の多種多様な要望にこたえなければならぬ市では、二十八万財にも及ぶ市道の維持管理を十分にできない点もあり、奉仕作業で市道の清掃を実施した地区などに報償金を支給し、道路愛護の思想を高めることにしています。

陸上競技大会入賞者

市内陸上競技選手権大会は、五月八日市総合グラウンドで行われ成績は次のとおりでした。

- ▽小学生男子百回の早水孝幸15秒5②馬見新健③小原和彦▽中学一年生男子百回の上松幸信13秒9②尻無瀬博幸③岡田雄二▽中学二年男子百回の齋藤哲郎13秒1②奥田博史③岡田行▽中学三年男子百回の松田充12秒8②中野功久③原崎竜一▽高校男子百回の中尾浩明12秒7③川添勝己③桑原健二▽二十歳台男子百回の寺地良加12秒5②木山和男③橋口勝広▽三十歳台男子百回の出口寛13秒1③萩原浩一③藤永豊▽四十歳台男子百回の川畑榮政13秒6③迫田行男▽小学生男子八百回の2分43秒3③尾崎孝志③梶尾▽中学一年男子二千回の久留聖聖7分14秒5③松下博幸③榎井源美▽中学二年男子二千回の赤木一英6分36秒5②若松慶二②仁礼忠▽小学生男子走り幅跳び①馬見新健3.4②東和則③坂口幸成▽中学生男子走り幅跳び①尾崎寿5.4③③西田明人③福田昭次▽高校生男子走り幅跳び①桑原健二5.4②②二十歳台走り幅跳び①落和正6.0③③橋口勝広③寺地良加▽三十歳台走り幅跳び①落宣一5.4③5▽小学生女子走り幅跳び①赤崎美和子3.7②②赤崎恵③奥平泰子▽中学生女子走

住民と行政との協力を

下村老
人クラブ ちり置場などを建てる

大丸区長の池上博義さんは「これからの生活環境の整備は行政だけに依存してはならないと思います」と前置きし「行政が行うべきことは行政が行い、住民が行うべきことは住民が行うという体制づくりが必要です。住民が行うべきことを市が行いますと、それだけ行政コストは高くなります。最近では住民の権利意識が強くなり、自宅の前のちり置場を撤去しても、市に要請する人が多い」と訴え、住民と行政との相互協力による環境づくりを提唱されています。

こうした意識が芽生えつつあるなかで、下村老人クラブは会員の融和と研修を深める一方、地域での奉仕活動を続けています。

同老人クラブでは、環境づくりの一環として、地区内の主な幹道にカンナを植栽するとともに、下村公民館前の空地に桜の苗木などを植え、花いっぱい運動に参加し



道路の維持管理に頑張る失対の人たち

ていますが、昨年は同公民館前に「ちり置場」を建設、現在までに三か所の「ちり置場」と一か所の「バス待合所」をつくり、地域の人たちに喜ばれています。

同老人クラブの奉仕活動は、単に地域の環境づくりだけでなく、作業を通じての会員相互の親睦にも役立っていると感じています。

多種多様な要望に十分対応できない悩み
市では市政懇談会やモニター会

議などを聞き、地域でのいろいろな問題を話し、市政に反映させているが、現実の問題として限られた財源のなかでは、十分に対応できない点もあり、市政の大きな悩みとなっています。

しかし、よく考えてみると、住民の要望に十分こたえるためには、相当な財源を必要としますし、自己財源の少ない本市の予算で、より住みよい豊かな環境づくりを進めるためには、市民と市との相

市民の声

奉仕活動で
仲間づくり



下村 淳さん
川俣

私たちの老人クラブでは花いっぱい運動に取り組んでいましたが昨年からは奉仕活動の一環としてちり置場やバス待合所をつくって来ました。ねらいは地域社会に奉仕すること、活動を通じて会員の融和を図ることなどですが、ひとつには清潔で住みよい村づくりは、私たち住民自らが取り組むべき問題だと思ったからです。環境づくりの主役は、私たち市民だと思えますね。

行政への依存
心を捨てよう



高之口 ユキノさん

一昔前までは道路のみぞさらえや草払い、海岸の清掃など、みんなが協力し合って自分たちの地域の環境づくりを進めてきました。最近では行政への依存心が強くなり、自分たちでできる小さなこととさえも、市にお願いするケースが多いようです。住みよい環境づくりは、住民と市とが協力しなければ実現できないと思います。まず私たちができる小さなことから実行に移したいものです。

市道の清掃実施地区

波留・倉津・大尾・中村・浦・東牧内・大林・牟田・折口東・永田上下・陳ノ尾・丸内・大下・木佐木野・長谷・椿・横手・裏野・羽田・遠矢・馬場・尾崎・弓木野・佐崎・本ノ牟礼・桐野上下・大淵・川・瀬之下・橋ノ西・黒ノ上・大瀬・八郷・松ヶ根 (昨年度分)

- り幅跳び①迫田三千代4分15秒
鳴海なみえ②小原豊子▽小学生
男子走り高跳び①富田佑敏1分30秒
②赤木真二③折橋政光▽中学生
男子走り高跳び①丸山哲郎1分50秒
②藤原哲郎③平田望▽中学
三年男子二千円①大野義和6分36秒
②石本利幸③赤崎秀男▽高
校男子千五百円①田島誠4分29秒
②竹割平一郎③山元浩志▽一
般男子五千円①瀬上誠二16分25秒
②東園勝美③松下▽三十歳台
男子二千円①大曲豊6分59秒②
新村定盛▽四十歳台二千円①迫
田行男7分43秒②下園泰平▽
小学生男子六十円ハードル①梶尾
11秒②小原和恵③金子雅也▽
小学生女子百円①赤崎光子15秒②
③奥平泰子④宮原▽小学生女子
六十円ハードル①山平13秒②下
沢③赤崎美和子▽中学一年女子
百円①山本みゆき15秒②飯田良
子③協園▽中学二年女子百円①
新町江利子15秒②鶴崎一美③岩
崎保江▽中学三年女子百円①西
田幸美14秒②田上尚子③鳥飼泉
▽高校男子走り高跳び①大下本敏
1分50秒②藤原健二▽二十歳台
走り高跳び①寺地正木1分55秒②
宇都松三③浜崎真一▽三十歳台
走り高跳び①黒崎春真1分55秒②
盛永豊▽中学生女子走り高跳び
①田上尚子1分28秒②寺脇美幸③寺
脇加代子▽小学生女子走り高跳
び①松元まこと1分21秒②本美奈
子③浜崎恵

副知事らが防災点検

災害発生に注意を

雨期を前にした五月六日、山口副知事らを連れて防災点検が行われ、本市側からは小野助役らが同行し、市内二か所の常時浸水地帯を現地調査しました。

防災点検では阿久根駅裏の排水路と阿久根農協東側一帯を点検しました。同地区は山手開発により降雨の放速が早く、常時浸水地帯となっており、国鉄の軌道敷内に暗きよがあり苦慮していると。このため山手上流部の排水を、高松川に分水する計画でしたが、用地交渉が難航し中止の状態にあります。

毎年、梅雨時期や台風シーズンになると、災害が発生し甚しい人命や貴重な財産が失われています。本市でも昨年は二度の竜巻など七回の災害が発生し、二人の重軽傷者のほか総額六億三千万円の被害を受けています。

このため市では、がけ崩れ防止工事やがけ下危険住宅の移転事業を進める一方、危険地域のかたに



阿久根駅裏の排水路暗きよを点検する副知事ら

注意を呼びかけています。被害を最少限に食い止めるために、ふだんから次のようなことに注意し、災害の未然防止に努めましょう。

- ① けがけ崩れは、傾斜角度三〇度以上、高さ五メートル以上の所が特に起きやすいと言われています。このようながけの近くに住む人は十分注意してください。
- ② がけ下にある家で、がけの高さの二倍の距離内にある家は、が

け崩れの場合、大きな被害を受けるおそれがありますので、気をつけてください。

- ③ がけ面の切り取り、土盛り、立木の伐採をして間もないところは、少しの雨でも崩れやすいので注意してください。
- 雨が降ったときは

- ④ 大雨が降り続いて百ミリを越えたとき、または、一時間に二百ミリを越すような強い雨が降ったときは、突然がけ崩れが起こるおそれがありますので、早目に避難しましょう。

⑤ 雨降りの夜などは、がけに面した部屋で休むことを避け、頭の向きをがけと反対にしましょう。

- ⑥ がけ崩れが起きたときのことを考え、安全な避難場所への経路を決めておきましょう。

⑦ 雨が降り続くとき、地盤がゆるみ、雨あがりの二・三日あとも、がけ崩れが起こることがありますので注意しましょう。

- ⑧ 時々がけの様子を見まわり、地割れや、がけ付近の水の濁りなど、いつもと変わったことはないか注意しましょう。

山崩れ防止にえんてい

市内五か所に完成



浮迫にえんていが完成

治山事業として事業費約四千五百

万円で浮迫・本之牟礼・小山段・山之口・岩迫にえんていが完成しました。

この事業は土壌の流出と山崩れを防止し、森林を保護しようとするもので、雨期を前に災害防止に役立っています。

- 「災害は針の穴から起こる」と言われていますので、次のような所は災害防止にご協力ください。
- ① 山林、伐採後の木の枝などを流

森 林 開 発 は 許 可 を 受 け て か ら

森林は木材の供給源であるだけでなく、山くずれや洪水などを防ぐとともに、水を蓄え空気を浄化するなど、目に見えない数々の働きをしています。

そこで、この貴重な森林を無秩序な開発から守り、森林が備えている機能を損わないようにするため、森林の開発を行おうとする場合は、知事の許可を受けなければならぬことになっています。

対象となる森林は、森林法による「地域森林計画」の対象とされている民有林で、一畝以上開墾したり、土石や樹根の採掘などをする場合となっています。

この許可制度の詳しいことについては、市農政課林政係か出水農林事務所などへお問い合わせください。

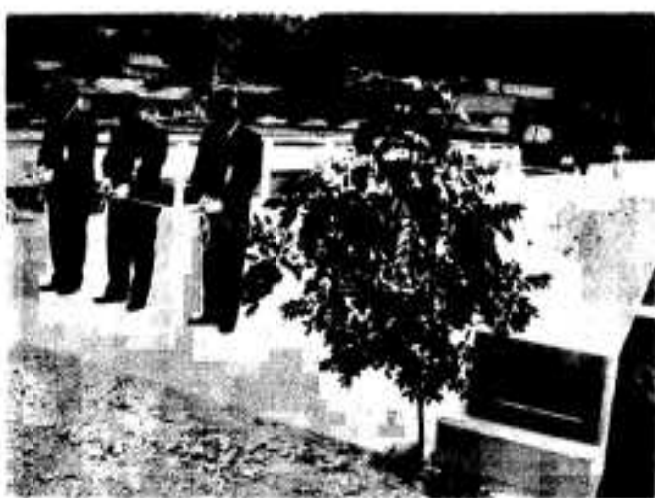
古里などを就業調査

七月一日現在で、古里など市内七調査区を対象に就業構造基本調査が行われます。この調査は総理府統計局が行うもので、国民の就業日数や時間、収入などを調査し、こんどの雇用対策に必要な基礎資料として用いられるものです。

対象地区では、調査員が各家を訪問し調査しますので、ご協力ください。

一筒橋ようやく完成

10 数 年 来 の 念 願 実 る



テープにハサミを入れる市長ら

めを行いました。

一筒橋は臨時市町村道路整備事業として総事業費二千二百二十一万円で今年の二月に着工。橋りょうは鉄筋コンクリート橋で、延長二十二メートル、幅員四・五メートルの立派なもの。このほか、同橋の取付道路として百四十四メートルの道路を新設しています。

宿願の一筒橋完成を喜ぶ地区民は、同日大川小学校体育館で完成祝賀会を開きました。席上、大川地区推進協議会長の奥平慶蔵さんは「大川地区民は市に十数年来の陳情を続けてきたが、ここに一筒

橋が完成し感慨深いものがあります。この橋がなかったため尊い人命も失っており、一筒橋の果す役割は大きなものがあり誠に喜びにたえません」と、感謝の言葉を述べました。

また坂元市長は「市民の懸念は市政の懸案でもあります。長い間の念願であった一筒橋が完成し喜びに堪えません。この橋の完成が地域の産業・文化の発展に寄与することを期待します」とあいさつしたほか、同橋の取付道路の用地買収に協力した人たちや地主などにお礼の言葉を述べました。

瀬之浦
桐野

二百ヘクを地籍調査

今月二十四日は説明会

市では本年度の地籍調査事業として、瀬之浦と桐野地区を対象に二百ヘクを一筆地調査することになっています。そこで、この調査を正しく行うため、次のとおり説明会を行います。対象字内に土地を持つてゐるかは、全員ご出席ください。

▽説明会日時

六月二十四日 午前十時

瀬之下・桐野下の各公民館

六月二十四日 午後一時

瀬之上・桐野上の各公民館

▽対象字名

堂免・日馳泊・平迫・平木・前日・仁田ノ迫・田島・柏原・飛松東保・笹原・上平尾・原口・畑田東山・草木山・下州・馬込・鍋川堂後・大迫・北龍毛・大野・大迫子・京松・古外戸山・大迫山・古外戸山・雨提・古外戸・廣迫・上藤毛・立石前・ソノノ木・ソノ木迫・荒田岡・中須・ヒシヤゴ黒瀬山・黒瀬・下荒田岡・荒田山荒田口・京田・京田外戸・京田山黒十之平・下黒中・雨包・平尾・上中川原・野畑・引地・迫口・山口・田島・登畑

おくやみ

投票日は七月十日
参議院議員選挙
参議院議員選挙は七月十日午前七時から午後六時まで、市体育館など市内二十一投票所で行われます。有権者は一人もれなく投票してください。

なお旧代・本之牟礼・小瀬・八郷地区の投票時間は午前七時から午後五時までとなっています。

前田 政七 81 (弓木野) ツルエ
柏木 清 67 (大林) シナエ
中村伊勢次郎 91 (的場) 花木キヲ
尾原 為吉 79 (尾原) ナツ
神之田鈴雄 64 (仲仁田) シゲノ
外村 新蔵 63 (牛之浜) 茂
佐藤 長七 73 (佐藤) 行雄
黒崎 千代吉 67 (段) クニエ
平田 ノリ 69 (段) 慶蔵
中野 佐内 72 (新町) 桔梗野
神之田ワサ 85 (仲仁田) 徳茂
坂口 新市 80 (永田上) 實雄
伊藤 吉太郎 78 (本町) 義夫
中野センガメ 78 (仲仁田) ノブ子
福田 次郎助 80 (佐藤) モモエ
猿楽 タケ 83 (佐藤) 庄市
牛之濱エイノ 57 (牛之浜) ナエ
永野 巖 63 (大瀬) フヂ
辻 用助 80 (古里) ミヨ
田上 シヲ 77 (小瀬) 謙
堂後 ソテ 72 (橋之東) 武雄
濱上 兼任 74 (黒之上) イセマツ

勲五等双光旭日章受賞
前教育長の黒崎栄さん

さきほど昭和五十一年度の総合表彰式で特別市民表彰を受けた黒崎栄さんは、春の叙勲で勲五等双光旭日章を受賞されました。黒崎栄さんは奈良県大和高田市の教育長から本市の教育長を十五年間務め、昨年十月に勇退されたもので、本市の教育水準の高揚と施設の整備などに貢献されてきました。七十三歳。

「ナマ」の演奏にうっとり

市民吹奏楽団が初の演奏会



息もぴったりの市民吹奏楽団

ひろば

この欄は市民のみなさんのページです。話題や市政に対する意見などがありましたら市総務課秘書広報係までお知らせください。

市民吹奏楽団が結成されて三年目、練習の成果を披露する初めての定期演奏会が五月十五日市民会館で開かれ、会場を埋めた市民の温かい拍手を受けていました。

三十三人の団員たちは一部「エル・キャピタン」「日本民謡メドレー」「なつかしの軍歌集」、二部「軍艦マーチ」「星条旗よ永遠なれ」など十六曲を演奏、生の演奏に接する機会の少ない市民に喜ばれていました。

市民吹奏楽団は阿久根中・三笠中・阿久根高校の吹奏楽部O・Bを主体に五十年一月誕生。結成以

来、毎週火曜日の夜、阿久根高校で練習を積み重ね、これまでにも市の文化祭や昨年の県民体育大会などにも参加し、その成果を披露してきました。

しかし「自分たちの演奏会を」と、会社員・公務員など異なった仕事を持つ団員たちは、練習に全員参加できないという悩みを克服し、この日の演奏会開催になったものです。

「将来は日本吹奏楽部連盟主催の全国大会に出場したい」と、団員たちは新たな目標を立てて練習に励んでいます。

さすがはおじいさんたち

市弓道会の明正会と三笠OBは、5月29日三笠中学校弓道場で競射会を行い、同校弓道部員らも参加。日頃の練習の成果を競いました。おじいさんたちの機敏的な競射に、同校の弓道部員たちは「さすがにうまい」と、しきりに感心していました。



「ひな女」にヤンヤの拍手

子孫の隆盛と繁栄を願う「ひなまつり」は、五月二十五日佐島でにぎやかに行われました。この祭りは部落に長女が生まれたとき行われるもので、ことしの「ひな女」は富吉真由美ちゃん、佐島梨恵ちゃん、佐島佳子ちゃんの三人。背中合わせにおんがされたひな女にお祝いの拍手がわいていました。



おめでた

出生児

保護者 区名

笹井 真紀 和博(寺山)

石山 浩章 恵(高)

富吉 祐美子 則雄(佐島)

松永 真喜 徳美(牛之浜)

的場 英士 真一(町)

永田 美由紀 耕造(永田上)

行橋 徹大 植一(大尾)

大塚 亜紀子 隆平(町)

谷口 ゆかり 文雄(長谷)

佐島 守啓 孝雄(町)

下園 成利 重利(尻無上)

石坂 俊博 務次(高)

坂元 武士 榮次(内田)

陳國 忠義 澄義(内田)

京田 麻衣子 廣(上野)

愛甲 直美 良磨(段)

濱崎 真志 真人(段)

佐々木さおり 知治(段)

花田 幸一 栄治(中屋敷)

早瀬 美奈 元幸(上原)

馬場 英樹 三郎(古里)

石澤 勝 勝雄(瀬之上)

神之田昌弘 真男(古里)

在宅医さん

五月十九日

北国医院 ②0016 (本町)

喜多医院 ②0038 (大丸)

黒木医院 ②0200 (下村)

五月二十六日

堀切医院 ②0263 (高松)

黒の浜に小唄と音頭が誕生

近くレコードを発売

「歌で村づくりを」と、このほど「黒の浜小唄」と「黒の浜音頭」が誕生。ラックスレコードでレコーディングを終え、近く発売されることになっています。

二曲とも五田大学作詞、坂元政則作曲。A面の「黒の浜小唄」は三番まであり、波と風呼び、黒の浜、生きるこの海、浜の男、黒の浜の灯はまねく、出船入船、港から、荷上げ大漁の、潮が昇る、という詞で、漁村・黒の浜をや、ロマン調に情感たっぷり歌い上げています。

B面の「黒の浜音頭」は四番までで「ハハー」春は釣から、さくら鯛（ソレ）人は総出の金比羅さまよ、歌や太鼓で、よか祭り（アコリヤコリヤ）、貴方手拍子、私が踊る、まこてよかとこ、黒の浜（ハソイジャソイジャ）ロイシヨコリヤエンヤサの花が咲く、という活気のある歌で、大漁などを祝う漁民の宴会向けの音頭にぴったりと喜ばれています。

同区長の梶尾孫兵衛さんは「都会に出て、非行に走る青少年が多いようです。都会に出てても両親やふるさとを忘れないでもらいたい」と、この歌をつくっていただきたいと「ふるさと」とのかけ橋にも役立てば」と期待されています。

夜道で仲間づくり

「健康と忍耐力を養おう」と、5月28日4Hクラブは初めての夜間歩こう会を行いました。歩こう会には女性10人を交えて24人が参加。コースは橋本愛宕橋から桐野・野田を経て出水駅までの往復38km。午後7時愛宕橋を出発した一行は、翌朝の6時帰着。「仲間づくりにも役立った」と話していました。



手料理

とりもつ、しぐれ煮

【材料】四人前 ①とりのレバー三百g、しょうが二かけ、酒大さじ二杯、みりん大さじ一杯、しょう油大さじ三・五杯。

【作り方】①とりのレバーは水洗いをよくして、血ぬきします。大きいものは一口大に切って二度ほどゆでこぼします。②しょうが薄切り、酒、みりんとともに鍋に入れ、汁気がなくなるまで、ゆっくりと煮ます。

社協だより

次のかたがたから 香典返しにかえて市社会福祉協議会に寄付がありました。

- ありがとうございます。
- 平田慶蔵（段） 中野ノブ子（仲仁田） 伊藤義夫（本町） 辻秋義（古里） 橋本庄市（佐高） 福田留蔵（佐高） 若松四男（尻無上） 藤アキ（落） 橋口シエ子（遠矢）

- 田中医院 ③0553（大丸）
- 石原医院 ⑤0045（橋之東）
- 七月三日
- 阿久根内科 ②0578（新町）
- 中村医院 ②0015（大丸）
- 濱之上医院 ⑤2600（橋馬場）
- 七月十日
- 上園医院 ③1055（本町）
- 喜多医院 ③0038（大丸）
- 平医院 ⑥2626（古里）
- 七月十七日
- 北国医院 ②0016（本町）
- 内山病院 ③1551（高松）
- 黒木医院 ⑥0200（下村）
- 七月二十四日
- 福切医院 ③0263（高松）
- 田中医院 ③0553（大丸）
- 石原医院 ③0045（橋之東）
- 七月三十一日
- 阿久根内科 ③0578（新町）
- 中村医院 ③0015（大丸）
- 濱之上医院 ⑤2600（橋馬場）

郷土発展に期待

神奈川県横須賀市久比野二丁目一〇一七

藤原利恵さん



二次世界大戦まで、幾多の戦線にも生き残り、大洋漁業横須賀工場に勤務していましたが、昨年三月定年退職し、現在は家族七人で平凡な毎日を送っています。

「ふるさととは遠くにあって思うもの」四季の変化から日常生活の合間にいたるまで、なつかしいふるさとのことは、片時も忘れたことはありません。異郷の地で読む「広報あくね」

⑥ みんなの福祉

母子・父子家庭の医療費助成

健康で明るい家庭をきずき、子供を健やかに育てることは、みんなの願いです。ところが不幸にして、母親や父親を失った場合、その家庭は精神的にも経済的にも苦しむことになります。

そこで阿久根市では、昨年の4月から母子家庭の健康と福祉の向上を図るため、県下の市町村に先駆けて医療費の一部助成を実施してきましたが、本年4月からは父子家庭の医療費助成にも踏み切っています。

母子・父子家庭の医療費助成を受けられる家庭は、配偶者のいない家庭で18歳未満の児童を扶養している家庭です。

助成金の額は、病気で医療費として保険医療機関に支払った月額から、2,000円を差引いた全額を助成することにしています。

従って、この制度の実施によって、母子父子家庭の医療費月額は、2,000円を超えることはなくなりますが、申請した月から適用されますので、早目に市福祉事務所まで手続きを行ってください。なお、手続きには健康保険証と印鑑が必要です。また、昨年度、母子家庭の医療費助成の手続きをされたかたも、本年度新たに手続きをしてください。

詳しくは市福祉事務所へどうぞ。

この保険に加入したいかたは保険料三百円を添えて、市教育委員会にお申し込みください。

市婦人会連絡協議会の春季総会は、五月十二日市民会館で開かれ、阿久根市民として美しい心と体を磨き、婦人の手で「いのちを大切に」「くらしを豊かに」「ふるさとを明るく」する運動を展開することを申し合わせました。

このなかで、市民運動の展開として独居老人に対する愛の声かけ運動や町をきれいにする運動とし

家庭から飲酒運転を追放

市婦連が総会で決議



独居老人への愛の声かけ運動などを決議する婦人会員たち

て内さない、散らさない、捨てないの「三不運動」を推進するほか、あいさつ先手運動や家庭から飲酒運転者を追放する運動を展開していくことを確認しました。

特に、さきほど飲酒運転のアンケート調査を実施した同婦人会は十世帯中、一世帯が最近でも飲酒運転を経験している事態を重視。まず、家庭から飲酒運転追放の運動を展開することにしています。このほか家庭生活の充実や健康の増進などを努力点として、楽しい夏の過ごし方を進める一方、進んでスポーツ活動に参加することなどを申し合わせました。

三百円で三百万円を保障

スポーツ傷害保険に加入を

スポーツ安全協会では傷害保険の加入者を募集しています。この傷害保険は、学校のクラブやスポーツ少年団、婦人会、青年団、走ろう会など、被保険者が加入している団体のスポーツ活動中に、け

がをした場合に支給されるものです。また、団体が指定する集合・解散場所と被保険者の住所との通常の経路往復中の傷害に対しても支給されます。

保険料は年間三百円で、死亡の場合は三百万円が支給されます。

また、通院の場合は一日千円、入院の場合は一日千五百円が支給されるほか、後遺症などの場合は、その傷害の程度に応じて三割から百割の保険金が支給されます。

最近、スポーツが盛んになるにつれて、けがをする人が多くなっています。保険加入よりも、けがをしないことが大切ですが、万一に備えて傷害保険に加入したいものです。

編集室から

市民の皆さんがたと市政をつなぐ唯一の機関紙として広報紙が発行されてから今月は三百六十五回目。企画から取材・編集と、毎月、何をどのように掲載すべきかを検討しているうち、たちまち原稿の締切日。

締切日に追われながら、今月は地域の総合医療センターとして期待されている国立阿久根療養所の整備状況とこんどの方向、それにこれからの環境づくりのあり方など、二つの課題について特集してみました。

この記事についてのご意見やご感想などがありましたら、市総務課秘書広報係までお寄せください。また、表紙に四月号から身障者のかたを掲載していますが、皆さんがたの地域に、逆境にも負けず地道に生きている身障者のかたや母子・父子家庭などがありましたらお知らせください。

そのほか、地域での催しや行事など、明るい話題などについてもお知らせくだされば、取材し広報紙に掲載したいと思っています。

係では、なるべく多くの市民のかたを掲載し、親しまれる広報紙をつくりたいと考えています。これからも広報紙は、市民とともに企画し編集したいと思っていますので、ご意見などがありましたら市総務課秘書広報係(③1211内線203)へお寄せください。